

質 問 回 答

2022 年 4 月 15 日

「全世界保健医療分野における技術協力と連携した無償資金協力戦略的活用のための情報収集・確認調査」

(公示日:2022 年 4 月 6 日／調達管理番号:22a00062)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 第 2 章 特記仕様書案 ページ 6、第 6 条 報告書等	成果品のワークプランの提出時期が契約開始後 2 週間以内となっており、提出形式の欄に和文 2 部、英文(英語圏)2 部、西文(西語圏)2 部、露文(露語圏)2 部となっていますが、必要性の高い 5 カ国以外の側面支援を行う対象国 6 カ国については調査がある程度進んで、渡航の必要性が決定してからワークプランを作成するという考え方は可能でしょうか？	側面支援となる 6 か国についてのワークプランは、必要性に応じて作成するという考え方で問題ありません。
2	企画競争説明書 第 2 章 特記仕様書案 ページ 7、第 6 条 報告書等	ファイナルレポートの西語は、中南米等にかかる部分と共通部分のみで良いでしょうか？また、西語で中南米の記述部分にも英文を作成する必要がありますでしょうか？	西語版は共通部分と中南米等に関係する部分のみの内容で記載ください。 英文については、西語圏もあわせて記載ください。
3	2022 年 4 月 6 日公示より適用の コンサルタント等契約における プロポーザル作成ガイドライン ページ 32 プロポーザルに記載する事項と 分量	(1)類似業務の経験と(2)業務実施に当たってのバックアップ体制のページ数上限で共同企業体の欄のところに「5」とのみ記載がありますが、類似業務の経験で上限 5 ページ(様式 4-1_その 1 で 2 ページ+様式 4-1_その 2 で 3 ページ)、業務実施に当たってのバックアップ体制で記述で上限 5 ページというように理解してよろし	ご理解のとおり1社で応募の場合は、計 10 ページ(その 3 を除く)となります。 なお、共同企業体の場合、まず(1)類似業務経験のページ数は、33 ページの注1に記載のとおり共同企業体を構成する社の数に 5(その 1 及びその 2 の合計の上限である 5 ページ)を乗じて算出します(共同企業体が 2 社の場合、2×

		<p>いでしょうか？ (つまり計 10 ページという理解です)</p>	<p>5=10 ページ)。 また、(2)のバックアップ体制は、共同企業体としてのバックアップ体制を記述するものであり、共同企業体を構成する社の数に関わらず 5(その 3 を除く)ページとなります。よって、共同企業体の構成社数が 2 社の場合 $2 \times 5 + 5 = 15$(その 3 を除く)ページとなります。</p>
4	<p>2022 年 4 月 6 日公示より適用の コンサルタント等契約における プロポーザル作成ガイドライン ページ 32 プロポーザルに記載する事項と分 量</p>	<p>業務実施のフローチャートを A4 サイズ 1 ページ 又は A3 サイズ 1 ページを使って作成した場合、 このページは上限ページのカウントに含まれる でしょうか？ (ページ 31 に記載の留意事項の、フローチャ ートが挿入された場合、当該部分についてはカウ ントの対象外という考え方がこれにも適用され ますでしょうか？)</p>	<p>業務実施のフローチャートは、上限ページのカウ ントに含まれます。 ガイドライン 31 ページの説明は、フローチャ ートは、フォーマットが本文と異なることが多く、<u>文字 数及び行数</u>をカウントする際に、フローチャ ート内の文字及び行のカウントが難しいため、カウ ントの対象外とするが、フローチャート外の文字及 び行についてはカウントの対象とするものです。 フローチャートは、図や表と同様に本文の一部と して(本文が記載される部分の一部を占有して) 記載(貼り付け)されるものと思われませんが、ペ ージの一部に記載する場合、及び 1 ページ全体 を使用して記載する場合、いずれもページ数の カウントの対象とします。</p>
5	<p>第 3 章 プロポーザル作成に係る 留意事項 (別紙 3)ファイナルレ ポート目次案(14 頁)</p>	<p>目次案、第 1 章 1-2-3-2 が求める調査対象国 六か国は、企画競争説明書の第 2 章 特記仕 様書案、第 5 条の(2)にて想定されている六カ国 と同様との理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>

6	<p>企画競争説明書 第2章 特記仕様書案 P.4 第5条 調査の内容 (1)</p>	<p>業務期間が約 1 年半あるなか、渡航調査国が 5ヶ国(+)となっています。各国を順番に調査して1ヶ国ごとに結果を出していくのか、同時並行で進めて、業務の最後の時点で結果を出すのか、各国の調査に対するアウトプットの時期についてのお考えをお示ください。</p> <p>また、渡航工程を組むにあたって、渡航調査国の緊急度及び重要度等があればご教授下さい。</p>	<p>同時並行で進めて、業務の最後の時点で最終的に結果をまとめていただくイメージとなります。各国の調査につきましては、現時点では緊急度重要度からアウトプットを求める時期が決まっている国がありませんので、業務開始後、各国の状況、渡航措置や治安状況、コンサルタント側の体制に応じ決めていきたいと考えております。</p>
---	---	---	---

以上